

令和５年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

都道府県名	高知県
市区町村名	佐川町

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
佐川町	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	現在、町内の教員については、年間平均、約400時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	・ 学校運営協議会にて、学校ごとの課題を明確にし、学校側のニーズを地域に共有できるような会の運営を図るとともに、町広報等を活用して適宜周知していく。 ・ 各協働本部の地域コーディネーターの役割を再認識させるため、研修会への参加を積極的に促す。	地域の方々に、学校が抱える課題や、それが児童生徒に与える影響を認識してもらうことにより、地域と学校の協働を促進させ、教員の業務負担が軽減する。	町内の町立学校に勤務する教職員の時間外勤務時間の年間平均	400	時間	375	399	2 ・ 地域コーディネーターへの研修会を実施し、事業の意義や役割を認識していただくことにより学校運営協議会が活性化につながった。 ・ 教職員の異動や配置等の変更により、前年度より時間外勤務時間が増えた教員が散見された。もちろん、時間数が減った教員もいたが、前年度に引き続き担当が変更されていない教員に限られた印象。学校内の状況が変わっても、時間外勤務時間が減るような活動を模索していく必要がある。
佐川町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	現在、学校支援ボランティアとして参加している人数は、年間を通じて平均35人となっており、支援活動及び学校支援ボランティアの属人化が課題となっている。 ※のべ人数ではありません。	・ 学校運営協議会や協働本部事業にて、学校側の課題や地域側の課題を共有し、各ニーズに沿った支援活動の実施及び新規ボランティアの人材発掘をする。	多種多様な人材の参画により、幅広いニーズに対応可能になり、学校と地域との協働の水準が向上する。	各協働本部事業に定期的（年間5回以上）に参加している学校支援ボランティアの平均人数	35	人	40	18	2 ・ 学校運営協議会や地域コーディネーターを通じて、幅広い人材の発掘を図っているが、なかなか発見に至っていない状況。かつ、事業担当教職員の異動等により、周知範囲が狭くなってしまい、定期的に参加していただいていたボランティアの方にも、お声がかからなかったことも参加者数が減った要因と考えられる。担当が変わっても、協働本部の活動が継続的に行われるような組織づくりが必要。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。